

福音館書店

『てんじつき さわるえほん ぞうくんのさんぽ』 触図と点字の解説

*はじめに

触図しよくずとは・・・カラーの絵の上に印刷されている、“盛り上がった”印刷のことです。「さわることのできる絵」ということで、触図と呼んでいます。

触図と点字は、透明の樹脂に紫外線を当てて、瞬間的に固める印刷技術で作っています。

*触図制作の基本ルール

絵本の絵（カラー印刷）と触図は、位置がずれていたり、形が異なったりしています。これは、触図を触ったときに、どのような絵が描かれているのかをわかりやすくしたためです。

その工夫とは……、

●触図同士が重なっていたり、触図と触図の距離が近すぎると、触ったときに「つながった、ひとつのもの」のように捉えられてしまうので、ひとつひとつの絵柄が区別できるよう、触図間の距離をあけています。

（例：ぞうくん、かばくん、わにくんの間、木の位置）

●画面の上部に触図を置くと、「空に浮いているもの」と捉えられてしまうことがあります。遠くにあるものや、奥にあるものを小さく描くような絵画表現は、触図ではできるだけ避けます。また、「同じもの」の大きさや形が、画面ごとに違うと、「同じもの」であることがわかりづらくなってしまいますので、極端に大きくしたり、小さくしたりしないよう心がけています。

（例：ぞうくん、かばくん、わにくんの大きさや形）

●画面によって、同じ登場人物の形が大きく変化してしまうと、別のものを感じられてしまいます。ページをめくった時に、同じ登場人物であることがわかりやすいよう、できるだけ、真横から見た形になるようにしています。

(例：19P～22Pのぞうくんやかばくん)

●画面の中で、触図が多すぎると、「何を表現した触図なのか」が理解しづらいことがあるので、ものがたりの流れに欠かせない絵を優先して触図にし、カラーの絵の一部を省略しています。

(例：木や、動物たちの形、池の水の表現)

●触図や点字の印刷は盛り上がっています。それをつぶさないように製本するため、画面の真ん中の折り目にあたる場所(ノド)や、画面の上下左右の端、約10mm部分には、触図や点字が配置できません。

●触図のさわり心地の違いで、絵柄を区別できるよう、触図のパターンを工夫しています。

(例：ぞうくん、かばくん、わにくん、かめくんの体の感触)

*点字制作の基本ルール

●絵本の文章は、すべて点字にしています。

読み飛ばしのないように、基本、左ページの上部に配置しています。絵本の文章以外に、登場人物の紹介や、絵を補足説明している点字が、印刷されているページがあります。

●点字制作の基本的なルールに従い、点字を作成しています。

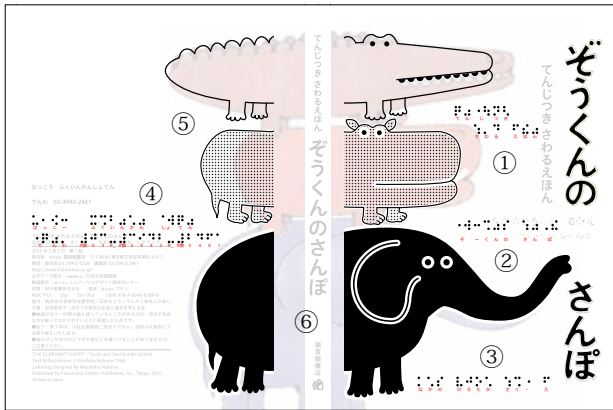
(絵本の文) (点字の文)

ぞうくん → ぞーくん

きょう → きょー

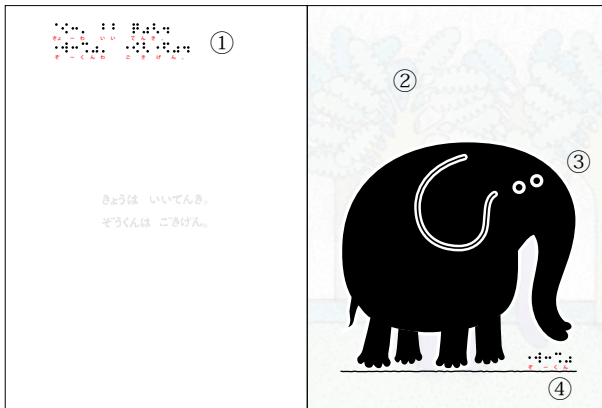
きょうは → きょーわ

点字を読むと、このように書かれています。



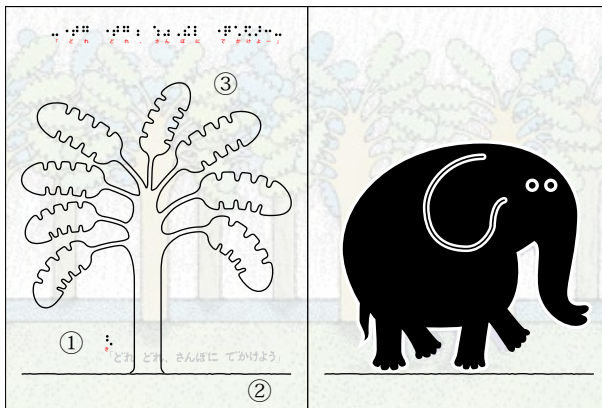
表紙

- ① てんじつき さわる えほん
- ② ぞーくんのさんぽ
- ③ なかのひろたか さく・え
- ④ はっこー ふくいんかんしょてんでんわ 03-3942-2461
- ⑤ ぞうくん、かばくん、わにくんが区別できるように、間をあけています。
- ⑥ 特殊な印刷、製本のため、背表紙には、触図と点字が入られません。



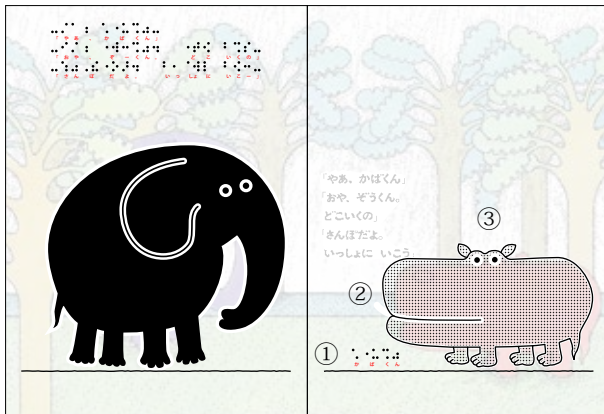
1P-2P

- ① 文章の点字は読み飛ばしのないように、基本、左ページの左上部分に配置。また、点字の表記のしかたに従い、
きょうは → きよーわ
ぞうくん → ぞーくん
となっています。
- ② 背景の木は、ぞうくんの触図と重なってしまうので省略。
- ③ ぞうくんは体の大きさが感じられるように、ツルツルの触図で表現。目はわかりやすいように黒目のみで表現し、ツメとキバは省略。
- ④ 「ぞーくん」と書かれた点字。画面にはじめて登場するものの名前は、触図の横に点字で名称を記載しています。(以下ページ同じ)



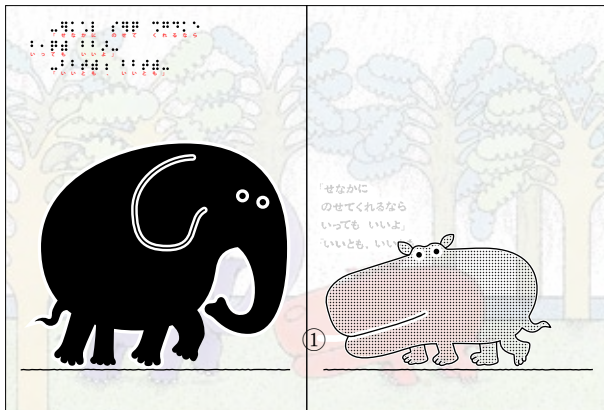
3P-4P

- ① 「き」と書かれた点字。
- ② 地面の線は、できる限りどのページも同じ位置にあるようにしています。
- ③ 背景の木を減らし、はっぱの重なりをなくしています。



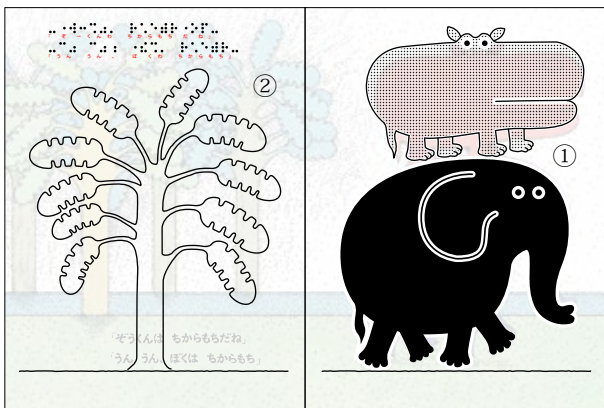
5 P - 6 P

- ① 「かばくん」と書かれた点字。
 - ② かばくんの鼻のまるを省略しました。
 - ③ かばくんの目は、わかりやすいように黒目のみで表現しています。
- さらに、わかりやすいよう、かばくんの耳を少し立て、耳と体を離して、わかりやすくしました。



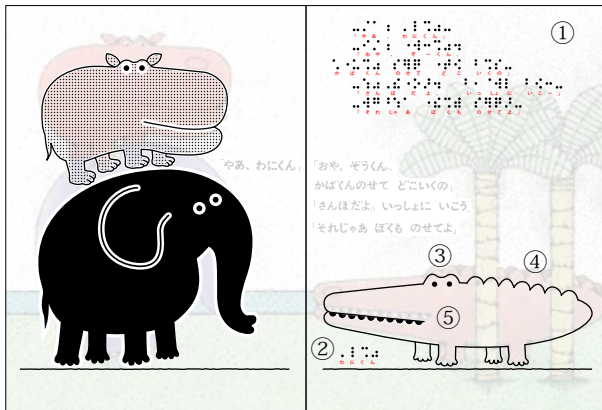
7 P - 8 P

- ① 画面の真ん中の折り目部分(ノド)には、触図が印刷できないため、ぞうくんとかばくんとを、左右のページにわけた触図にしました。



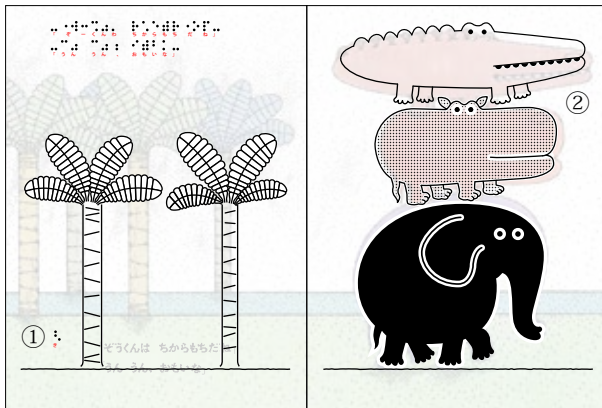
9 P - 10P

- ① ぞうくんと、かばくんのそれぞれの形がわかりやすいように、間を約2ミリあけています。(以下ページ同じ)
- ②背景の木を減らし、はっぱの重なりをなくしています。



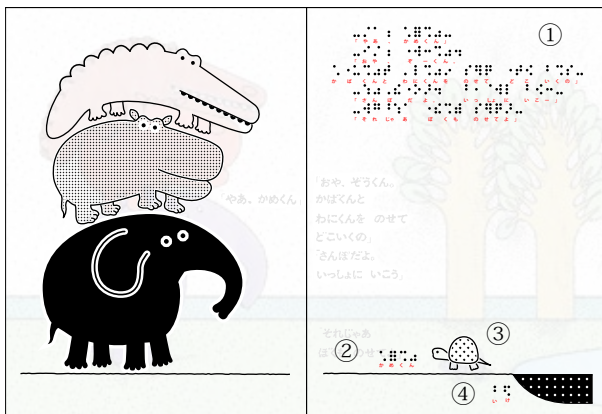
11P - 12P

- ① 左ページ上部に点字を入れるスペースがないため、右ページの上部に点字を配置。
- ② 「わにくん」と書かれた点字。
- ③ わにくんの目は、わかりやすいよう、黒い目だけで表現。
- ④ 背中のコブの数を省略。
- ⑤ 歯のさわり心地を工夫。



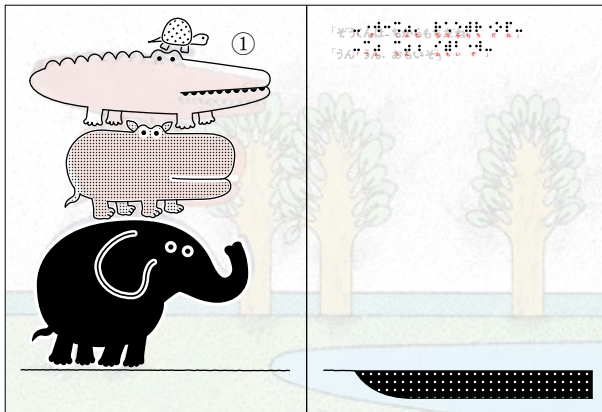
13P - 14P

- ① 「き」と書かれた点字。
- 背景の木を減らし、はっぱの重なりをなくしています。
- ② かばくんと、わにくんのそれぞれの形がわかりやすいように、間をすこしあけています。
- (以下ページ同じ)



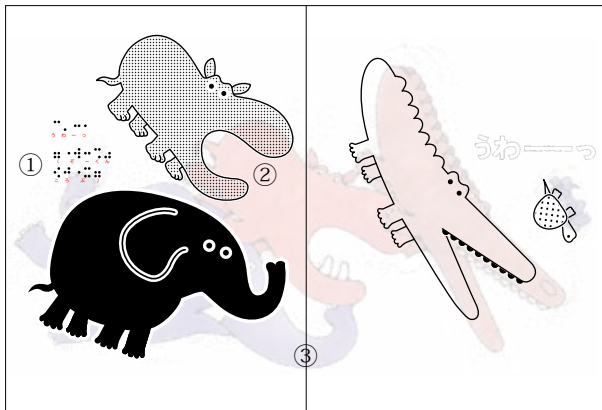
15P - 16P

- ① 左ページ上部に点字を入れるスペースがないため、右ページの上部に点字を配置。
 - ② 「かめくん」と書かれた点字。
 - ③ かめくんの甲羅のさわり心地を工夫。
 - ④ 「いけ」と書かれた点字。
- 池が地面の下にあることがわかってもらえるように、形を工夫。



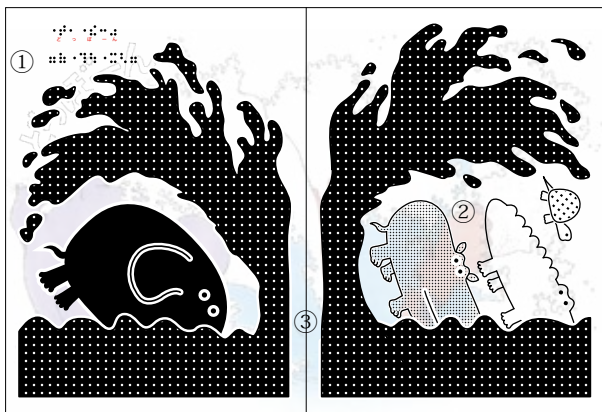
17P - 18P

① わにくんと、かめくんのそれぞれの形がわかりやすいように、間をすこしあけています。
(以下ページ同じ)



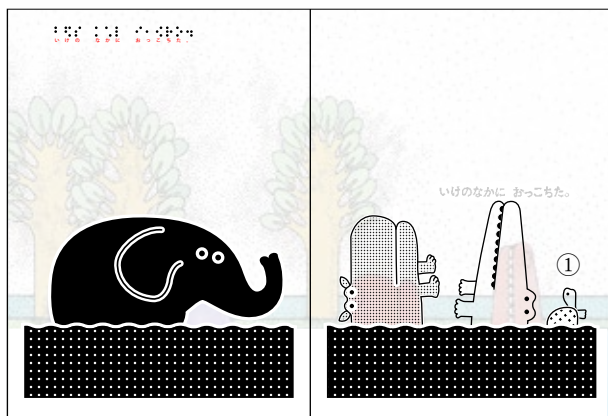
19P - 20P

① 「(ぞーくん ころぶ)」と書かれた、補足説明の点字。
② かばくんの歯は省略。
③ 画面の真ん中の折り目部分(ノド)には、触図が印刷できないため、絵を左右のページにわけました。



21P - 22P

① 「(みずしぶき)」と書かれた、補足説明の点字。
② 登場人物の形を認識しやすいように、水にかくれている部分を減らしています。
③ 画面の真ん中の折り目部分(ノド)には、触図が印刷できないため、水柱があがるイメージで、触図用の新たな絵に変更しています。

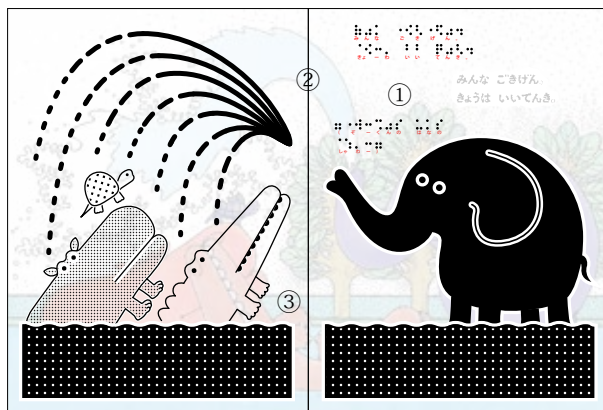


23P - 24P

① かめくんがいることがわかりやすいように、かめくんの位置を移動。頭だけでなく、甲羅もさわられるよう、池から出る部分を増やしています。

②画面の真ん中の折り目部分（ノド）には、触図が印刷できないため、池も左右にわかれています。

（以下ページ同じ）



25P - 26P

① 「(ぞーくんのはなの シャワー)」と書かれた、補足説明の点字。

② 画面の真ん中の折り目部分（ノド）には、触図が印刷できないため、シャワーだとわかるよう、形を工夫。

②かばくんとわにくんの重なりをなくし、それぞれの形がわかりやすいように配置を工夫。かめくんの位置も移動。